

1. 科目コード

1299

2. 科目名

ビジネスプロセス特論

3. 担当教員

二見 強史 (Tsuyoshi Futami)

4. 開講期

春2学期

5. 科目の目的・概要

このコースは、ビジネス・アナリスト養成のための知識体系であるBABOK(Business Analysis Body Of Knowledge)を学びます。想定する対象者は、入社3年目に業務プロセス改善を命じられた若手ビジネスマンとしていますが、社会人経験のない学生は、定性分析、定量分析の基礎を学ぶことで、課題解決手法を身に着けることを目的とします。

6. 科目の学習目標

- (1) ビジネス上の課題と、提案したソリューションが組織に与える影響を説明できる。
- (2) ビジネス目標をシステム要求へと変換できる。
- (3) 顧客のニーズを評価し、情報システムに関する戦略計画立案に貢献できる。
- (4) 定性分析が使いこなせる。
- (5) 定量分析が使いこなせる。
- (6)

7. 本学の教育目標と科目の学習目標との対応

教育目標		学習目標	
高度ICT スキルの修得	基礎的素養	(4)、(5)	
	専門知識および業務応用力	(1)、(2)、(3)	
人間力 (=探究力) の修得	自ら強みを磨き続ける力		
	自ら社会における 課題を発見し、 解決する力	課題設定	(1)、(2)、(3)
		仮説立案	(1)、(2)、(3)
		仮説検証	(1)、(2)、(3)
		実行	(1)、(2)、(3)
	社会人基礎力	前に踏出す力	(1)、(2)、(3)
		考え抜く力	(1)、(2)、(3)
チームで働く力			
職業倫理の修得			

8. 履修要件(前提科目)

なし

9. 教科書

ビジネスアナリシス知識体系ガイド (BABOK®ガイド) Version3.0, IIBA® 日本支部
英語版は、↓から無償でダウンロード可能です。

http://www.innovativeprojectguide.com/documents/BABOK_Guide_v3_Member.pdf

10. 参考書

事例から学ぶビジネスアナリシス,2013,IIBA日本支部

<http://www.iiba-japan.org/know-how/BAs.pdf> からダウンロード可能

ビジネスで使いこなす(入門)「定量分析」、日本実業出版社

ビジネスで使いこなす(入門)「定性分析」、日本実業出版社

11. 評価方法と配点

学習目標	達成度評価方法と配点					
	期末試験	小テスト	レポート	発表	成果物	その他
(1)				○		
(2)				○		
(3)				○		
(4)		○	○	○		
(5)		○	○	○		
(6)						
配点		10	40	50		

12. 備考

13. 授業計画

(注) 授業計画は、あくまでも予定であり、実施時に、適時、追加・変更・修正等が生じる場合があります。

第1回 (オリエンテーション)

(講義90分)

自己紹介

- 1 オリエンテーション
- 2 ビジネスアナリストの役割
- 4 知識体系の概要
- 5 基礎コンピテンシー (BABOK第9章)
分析的思考と問題解決、行動特性、ビジネス知識、コミュニケーションスキル、人間関係スキル、ツールとテクノロジー、ブレインストーミング

第2回 (基礎コンピテンシーの続き)

(講義と演習90分)

- ・分析スキルの基礎知識演習
 - ・定量分析に必要な知識の演習
財務会計(簿記＝アカウンティング)、管理会計(ファイナンス)、統計学(ベイズの定理)、ゲームの理論、相関分析、回帰分析、数量化理論など
 - ・定性分析に必要な知識の解説
MECE、PEST分析、5Forces分析、SWOT分析、7S分析、VRIO分析、アンゾフの成長マトリックス、PPMなど

第3回 (BABOK第2章 主要コンセプト)

(講義と演習90分)

- ・主要な用語とスキームの説明
- ・全体概要と最終プレゼンテーションテーマの説明

第4回 (BABOK第3章 計画とモニタリング)

(講義と演習90分)

-
- 計画とは何か
 - 2 衆類のアプローチ (適用型と予測型)
 - ステークホルダー分析手法の演習

第5回 (BABOK第4章 引き出しとコラボレーション)

(講義と演習90分)

-
- いかにしてニーズを引き出すか?
 - 主な手法の演習
 - インタビュー、観察、協働ゲーム (プロダクト・ボックス、フィッシュ・ボール) など

第6回 (BABOK第5章 要求のライフサイクルマネジメント)

(講義と演習90分)

-
- 要求の優先順位付けについて解説します。(決定分析)
(要求とは、ニーズの理解しやすい表現)

第7回 (BABOK第6章 戦略アナリシス)

(講義90分)

-
- ギャップ分析 (As-IsモデルからTo-Beゴールの実現について定義します。)を学びます。
 - 主な手法
 - ビジネスモデル分析、ビジネス・モデル・キャンパス、KPI、ベンチマークなど

第8回 (BABOK第7章 要求アナリシスとデザイン定義)

(講義と演習90分)

-
- ニーズ (要求) をモデル化して、ソリューション (デザイン) 推奨までの手法を学びます。
ここでは、個別システムの最適化から、全体最適化 (企業利益の最大化) までが知識エリアに加わっています。

第9回 (BABOK第8章 ソリューション評価)

(講義と演習90分)

-
- ユーザ運用時の価値に責任を持つための評価手法を学びます。
これまでは、ユーザがソリューションを受け入れ (検収) た時点で完了でしたが、ソリューションのパフォーマンスを評価することが重要視されるようになりました。
-

第10回 (BABOK第11章、専門的視点①アジャイル) (講義と演習90分)

- ・アジャイル環境のビジネス分析手法と「開発手法を解説します
- ・アジャイルに特有な分析手法として、
MosCow優先順位付け、狩野分析、ペルソナ、リアル・オプション、レトロスペクトなどを
- ・アジャイル特有の開発手法として
スクラム、XP、振舞駆動開発などを解説します。

第11回 (BABOK第11章、専門的視点②BI(ビジネスインテリジェンス)) (講義と演習90分)

- ・データアナリストに必要な知識について解説します。
- ・データ発生源をINPUTとして、
(1)データ統合(前処理)、(2)データウェアハウス、(3)エンタープライズ・データ・ビュー
(4)意思決定支援を通して、
- ・OUTPUTとして、ダッシュボード、レポート、クエリー、自動化(RPAなど)までのフローについて解説します。

第12回(BABOK第11章、専門的視点④BAI(ビジネスアーキテク)) (講義と演習90分)

- ・BAは、エンタープライズをモデル化して青写真をして捉える概念です。
最も有名な「フレームワークは、ザックマン・フレームワークですが、
主要な手法として、オープン・アーキテクチャー・フレームワーク、
エンタープライズ・コア・ダイヤグラム、カスタマ・ジャーニー・マップ、
価値マップ、情報、マップ、組織マップ、能力マップ、ロードマップなどの各種マップ、
ビジネス・モチベーション・モデルやプロジェクト・ポートフォリオ分析について解説します。
尚、BABOK専門的視点③IT視点は、REBOK要求分析と同一内容につき、簡略説明にとどめます。

第13回 (BABOK第11章、専門的視点⑤BPM(ビジネスプロセスマネジメント)) (講義と演習90分)

- ・方法論として、制約理論(TOC)、品質管理(QC)、適応型ケース・マネジメント(ACM)
BPR(ビジネス・プロセス・リアレンジング)、リーンについて解説します。
- ・主な手法として、
5W、なぜなに分析、DMADV、DMAIC、IGOE、SIPOC、カイゼン、FMEA
コスト分析、ドラム・バッファ・フロー、バリュー・ストリーム、などを解説します。
この章は、1回終了しなければ、次回に繰り越します。

第14回 (専門的視点⑤続き) (講義と演習90分)

- ・第13回の続きと、最終プレゼンテーション・リレーの設計セッションとします。

第15回・第16回(プレゼンテーションリレー) (発表とクラス討議)

各自が設定した課題で、プレゼンテーションを行ってもらいます。
